



交通安全指導員 田上けい子さん(左) 栗田啓子さん(右)

三石地区で交通事故撲滅のため、日夜活動を続ける女性指導員のお二人。年4回の交通安全別期運動期間での街頭指導などに参加され、町内に2人だけの女性指導員として活躍されています。

■交通安全指導員を始めたきっかけ

(田上さん)平成23年に三石地区交通安全指導員協議会と三石交通安全協会の会長さんから、女性指導員という新たな立場で地域の交通安全に協力してもらえないかと相談されたことがきっかけです。当時、孫が幼稚園に通っていたこともあり、子どもを交通事故から守るお手伝いをするので少しでも役に立つのであればと思い始めました。

(栗田さん)平成30年に自治会長から子どもたちを交通事故から守る手伝いをしてほしいと依頼され、学校で養護教諭をしていた経験から子どもの命を守る大切さを実感していたため引き受けることにしました。

■主な活動内容

●子どもや高齢者への街頭指導



春夏秋冬の年4回実施される交通安全別期運動期間には、「きちんと横断歩道を使い道路を渡ることが大切」という意識を持ってもらえるよう、三石小学校近くの国道交差点で子どもや高齢者に横断歩道の渡り方などを指導しています。

特に春の時期は、新1年生の下校時刻に合わせて交差点に立ち、子どもたちと一緒に横断歩道を渡るなど、子どもを交通事故から守ることを第一に考えて指導しています。地域の子供たちに声を掛ける機会にもなり、「こんにちは」と元気にあいさつをしてもらえるとてもうれしい気持ちになりますね。

●その他の活動

最近ではコロナ禍であまり活動ができていませんが、夏には交通安全協会の方々とともに、三石海浜公園を訪れたキャンパーや道の駅を利用される方などに飲酒運転根絶やハンドルキーパー運動のチラシを配布し、交通安全を呼びかけています。また、併せて地元特産の昆布も配り、町のPR活動も行っています。



■今後について

これからも地域の方だけでなく、多くの方に交通安全への意識を高めてもらい、悲惨な交通事故が起きないように活動を続け、皆さんが笑顔で過ごせる地域にしていきたいです。



三石地区交通安全指導員協議会 会長 坂井 靖武さん

お二人とも明るい性格で、子どもたちとも仲良く触れ合いながら横断歩道の渡り方などを指導してくれています。また、交通安全イベントなどでは、やさしい笑顔や心遣いで交通安全の呼び掛けなどを行ってくれます。

これからも地域の交通事故防止のために交通安全指導員を長く続けてもらいたいと思っています。

交通安全指導員の状況

道内の交通安全指導員は、令和3年12月1日現在4,551人で、うち女性指導員は821人(約18%)となっています。日高管内では、指導員140人のうち19人(約14%)の女性が交通安全指導員として活躍されています。

ストップ・ザ・交通事故
 ～ めざせ 安全で安心な北海道 ～



日高管内の交通安全指導員の人数

単位：人

町名	指導員	うち女性指導員	町名	指導員	うち女性指導員
日高町	16	4	新ひだか町	24	0
平取町	30	3	静内地区		
新冠町	5	3	新ひだか町	19	2
浦河町	15	6	三石地区		
様似町	15	1	管内合計	140	19
えりも町	16	0	道内合計	4,551	821